

## 第2回防府市庁舎建設懇話会 意見まとめ

### 新庁舎の必要性

1 意見書	築年数、耐震性から考えても庁舎の建替えは必要である。貴重な書類が保管され、市民が集まり、市の中心となる所なので大事が起こらない前に。
2 意見書	1号館・5号館をはじめ建築後相当な年数が経過している。4号館・議会棟以外にエレベーターが設置されていない。各庁舎が雑多に立地しており来庁者に不便である。こうした課題を解消するには一括全部建替えがベストである。

### まちづくり・活性化

3 懇話会	老朽化し、耐震性に問題があるという物理的な問題を出発点にするならば、使い続けられるものは建替える必要はない。市の業務量やサービスに検討すべき課題が多々あるという機能的な問題を出発点にするなら市の業務そのものの見直しや、市庁舎の機能といった根本的なところから幅広く検討すべき。この懇話会では、白紙の状態から市役所とは本来どうあるべきかを検討してはどうか。
4 懇話会	議会棟は新耐震基準を満たしているが、用途を変更して使うことを考えれば全て白紙から敷地も新たに考えられる。
5 懇話会	議会棟だけを残し、耐震性に問題があるものだけを建替えるのと、白紙でどうしたらいいかを問うのは少し違うような気がする。
6 懇話会	これからの50年、100年を考えるのであれば白紙から考えるべきである。
7 懇話会	まず白紙の状態から市役所を考えていかないと議論が進まない。
8 懇話会	すべて白紙から考えていくことはとてもよいことだと思う。
9 意見書	JR防府駅を中心としたまちづくりの根幹は、連続立体交差事業と周辺地域の面的整備であり、当時の基本計画「生活都心」に沿ったまちづくりである。
10 懇話会	市庁舎は50年、100年という将来を見据えて建てなければいけない。中心市街地を活性化するために総合的に考えていかなければならない。
11 懇話会	アーケードは寂れ、駅周辺はびっくりするぐらい駐車場が増えている。少子高齢化が進めば、駅周辺が活性化しなければ私たちの生活も成り立たない状況になる。コンパクトシティや中心市街地活性化は庁舎建設と切っても切れないものだ。
12 意見書	以前の市庁舎が現在地に移転した後、他の公共施設も移転し、駅南が市街地として活性化した。市庁舎の建替えはまちづくりからも大事である。
13 懇話会	周辺部は大型店舗ができたことでだんだん店がなくなり、車に乗れなくなった高齢者が中心部のアパートに転居するという状況が出始めている。以前は市役所も警察署も郵便局も車塚の狭いところに密集しており、現在地にできた時はとても喜んだ。当時は周りはほとんど田んぼだったが、今は駅北よりも駅南が市街地化している。庁舎が建て替わり、そこが中心となれば防府市の活性化に役立つのではないか。
14 懇話会	親が歳をとっていくことを考えると、生活に関わりのある病院や公共施設、商業施設が駅に近いところにあるとよい。
15 懇話会	少子高齢化がかなり速いスピードで進んでおり、バスあるいはタクシーで出かける人がどんどん増える。その時、いろいろな施設がバラバラに存在するという状況はいかがか。中心市街地に一旦バスで行けば、歩いていろいろな用事を済ませることができる必要がある。
16 意見書	人が車を降りて歩くためには目的地と降車場を離すことが第一。また、歩くことが苦にならない環境も大切。これらの方策として、①駐車場は庁舎から少し離れたところに設ける。②庁舎建設地は駅、バスセンター等公共交通機関の拠点から徒歩圏内とする。③庁舎周辺は適当に商店や飲食店等があり、雨天でも濡れない設備を設ける。
17 懇話会	富山市などの事例を参考に、市庁舎の建替えについては、民間とどのような戦略をもって駅周辺を活性化させていくかを併せて考えてはどうか。
18 懇話会	人口が減らないようにするためには市内の方が中心市街地のマンションに入居するという発想では人口は増えない。例えば、高齢者を対象とした高級マンションなど、金額は高いが、県外あるいは市外から高齢者を呼び込むものが防府の中心市街地にあれば人口が増える。
19 懇話会	どこに建てるか具体的に議論しないのであればコンパクトシティと市庁舎について考えられないのではないか。最近建った市庁舎に共通して必ず必要なものもあれば、防府市独自に抱えている問題もある。駅北・駅南の一体化や時代・社会の変化、耐震性、高齢化の問題、その中で市役所はどうあるべきかを考えるのか。

20	懇話会	コンパクトシティのコンパクトとは駅周辺や商店街、若しくはもう少し広い意味で郊外までを含むか。防府市の都市計画は中心地居住と言っているが、一方では調整区域に住宅を建てることある程度許されている方向性があり、これをどう調整していくかが将来的な課題であり、これを考えると中心市街地やコンパクトシティと市庁舎の役割というのが頭の中ではっきりとイメージが見えてこない。
21	意見書	「改正都市再生特別措置法」の流れからコンパクトシティの構築に地方都市が着手し始めているが、当市に当てはめた時のイメージがまだ掴めない。
22	意見書	秋田市、青森市、富山市のコンパクトシティを資料でよいので簡潔に教えてほしい。
23	意見書	ルルサスができたときは少しは商店街の活性化につながるかと思った。しかし、工場空き土地に大型複合商業施設ができ、大型駐車場がある大型店舗に人が流れた結果、ルルサス内の商業店舗の入れ替わりは甚だしい。個人商店や小・中型店舗の撤退で市中心部に住んでいるにもかかわらず、買い物難民となっている高齢者は少なくない。このままでは車を手放す高齢者の増加や車の免許を所持しない市民にとっては、住みにくさを増幅する防府市になると思う。
24	懇話会	防府市の将来の都市ビジョン、都市計画のマスタープランをどう防府の生活スタイルに合わせていくかということのを別の計画でしっかりおさえてほしい。
25	意見書	庁舎建設・建替えをきっかけとして市全体の活性化や経済効果の話を煮詰めていくことは必要であるが、懇話会とは別のところで、懇話会の意見も参考にして議論を尽くしてほしい。
26	意見書	市民のアクセスや他の関係機関との連携など庁舎の果たすべき役割、持つべき機能面等を模索する中でまちづくりのコンセプトなり、活性化の手法なりのヒントが見えてくる。

## 国との一体的整備

27	懇話会	市役所で国や県の手続きができるとよい。
28	懇話会	法務局など市民生活に関連する国等の施設は一体的に整備すると便利である。
29	懇話会	国の合同庁舎と市役所とで一体的に床をシェアするなどの検討をしてはどうか。
30	意見書	税務署、ハローワーク等との合築、県総合庁舎、市保健センター等の公共施設を集め一体的整備を図ることにより、交通機関を利用しての市民サービスの向上やお年寄りが暮らしやすいまちづくりが形成され、かつ、建設費や維持管理費のコスト軽減が見込まれる。
31	意見書	今後、国の三田尻・中関港強化岸壁の整備、防府環状線の整備が進む中、県土木事務所の存在は重要課題であることから、共同利用(コンパクトシティ)を働きかける必要がある。県は跡地利用が図られる。
32	意見書	国等との一体的整備をするとどんな条件が伴ってくるか。

## 位置

33	懇話会	5.4キロにも及ぶ鉄道高架事業は県内他市にはない。鉄道高架はできたがまちはバラバラである。交通の面からも高齢化という面からも駅を中心に考えることがはずせない大きなポイント。庁舎を中心にもっていけば駅北の商店街の活性化が図れるのではないかと。庁舎はそういった役割を担うものではないか。
34	懇話会	現庁舎では、まちづくりもできていない、活性化もしにくい、交通のアクセスも悪いという面がある。駅周辺など建設場所によっては市庁舎が拠点となり、周辺のまちづくりや活性化が図れるのではないかと。
35	意見書	駅(人の流れが活発)の周辺に市役所ができるとまちづくり活性停滞・交通不便の解消につながる。市内の公共施設、民間施設が身近で便利で安心して暮らせる防府市になればと願う。その拠点は利用便利な市庁舎である。
36	意見書	高齢者には公共交通機関を利用してのアクセスのしやすさが求められ、若者や働く世代には車でのアクセスのための駐車場の確保が求められる。世代世代の利用度、行政との関連性も考える必要がある。JR防府駅を中心としたバス交通網の現状をみても、主要・中心的な部署の位置はやはり市の中心部にある方が望ましい。
37	意見書	鉄道駅、バス停の集中する駅北から至近の国鉄官舎跡地一帯がベストと考える。

## 交通インフラ

38	懇話会	駅前マンションが建つと高齢者がすぐに申し込むのは、交通とのアクセスを望んでおり、駅周辺に住んだ方が便利だと思っているから。車がないとどこにもいけないというのはドーナツ化が起きていると思う。コンパクトに市街地に集めることは方向性としてよい。
39	懇話会	車を使える層が極めて少なくなる将来に向けて車に過度に依存しなくても市民生活に支障がないまちづくりを考えることが大事である。
40	意見書	高齢化で公共交通機関の利用者が増える。特に周辺からの来庁者に対して、公共交通機関を利用しやすいように考えておきたい。

## 集約化と分散化

41	懇話会	市役所は市民生活にとって役に立つべきものであるため、市民の生活に必要なところは集約し人の流れを作っていくべき。そうでないものについては分散していてもよい。
42	意見書	移動を少なくし、スムーズに用件を済ませられることができるように市の部署は集約を望む。分散すると高齢者や障害者にとっては移動時間や方法が大変になってくる可能性が考えられる。
43	意見書	現在分散配置されている利用度が高く、関係機関と関連している部署は、市民が集まりやすく利用しやすい場所にある方がよい(生涯学習課・保健センター等)
44	意見書	市の部署の集約と分散については、市民サービス業務が円滑に行えるよう適材適所を基本に集約と分散の両立の考えでよい。
45	懇話会	コンパクトな行政組織を作るため、現在分散している市の部署をまとめるにあたっては、まず行政機能として本来必要な機能は分散させないこととし、次の段階でまちづくりに対して何を付加するのか等を考えていけばよい。他市であるように、民間が大きなビルを建てた中に本来機能を持っていくといった方式もあると思う。
46	懇話会	基本的な行政業務は一箇所に集約すべきだが、図書館や公会堂といった集客施設は市民が集まりやすいところに分散させるべき。にぎわいということを考えると基本的な行政機能はコンパクトにして、駅から1キロ圏内程度のところに市庁舎はあるけれど、集客施設は駅の周りにあるという形がよい。
47	意見書	更なる少子高齢化や価値観の多様化が進む中、将来を的確に予測することは非常に困難であり、庁舎を集約するか、分散するかなどを一から検討するのは大変だと思う。一律に集約を考えるよりも現状で分散している部署の利便性等について市民の声を聴いてみてはどうか。
48	意見書	経緯や現状を考えれば、部署の分散はあって然るべき。新庁舎への集約については、分散していることでの効果や弊害、分庁舎は新しいか、古いか、使用の限界か、利用者の声はどうか、集約・分散に係る経費を比べるとどうか、分散した方が効果的な部署はないかなどの現状を踏まえた上で慎重かつ多角的に検討し対応すべき。
49	懇話会	市の業務の中には分散させた方がいい業務もあると思う。例えば、おもてなし観光課は市の中心や観光地付近に配置した方が実態が分かってよい。クリーンセンターなど現状で問題がない施設については集約して市庁舎の規模を大きくしなくてよい。
50	意見書	分散することで業務目的をより効果的に果たせると思うのが「おもてなし観光課」の天神ピアやうめてらす、アスピラート・防府駅内への設置である。人々の生の動きや意見に接することでいい企画が生まれると思う。
51	懇話会	各地域に防災機能を持った公共施設が分散してあるとよい。平常時の備蓄費用などはかさむと思うが、市民の避難場所が多いという視点を持てばよい。

## 財源等

52	懇話会	市が独自に公募債のような市民にとっては銀行にお金を預けるより利息がよく、市も銀行から高い金利で借りるよりもよいといったものを発行すれば市民の注目度、関心度もあがるのでは。
53	意見書	多額の税金を費やして建替えるが故に市民が思うこと、希望することには大いに耳を傾けてほしい。公共施設を大切に思う風土づくりのスタートにし、市民が愛着を持ち、誇れる庁舎にするためにも市民を対象とした公募債を財源のひとつに考えることはとても意味があるのではないか。
54	意見書	超低金利下での公募債は縁故債との大きな金利差は望めず、膨大な募集の手続き、償還事務量等からすると効果は薄いと思う。
55	懇話会	民間に市の業務を一部委託する、多目的ホールを貸すなど、市庁舎をすべて市が使うのではなく、貸して使用料を取れば人件費も減り収益も入るのではないか。
56	懇話会	オフィス部分にしても会議室にしても、セキュリティの問題等あるが、使用料を取るという考え方はある。

## 機能(全般的なもの)

57	意見書	市役所の機能、執務上の必要、市民サービスといった行政機能からの視点と共に、利用する市民の立場からも考えてほしい。
58	懇話会	議会棟は耐震性が十分ということだが、議会棟と庁舎は離れ離れでは機能しない。
59	懇話会	議会棟と市庁舎を離すことは考えられない。
60	懇話会	駅周辺に建っている公共施設を別の用地に集約し空いたところに公営住宅を建替えるといった一連の再配置の核として庁舎があるとよいのではないか。関連部署も巻き込んで再配置も視野に入れて計画してはどうか。
61	懇話会	公会堂と市庁舎の建替えを同時進行で行い、多目的ホール付き市庁舎とすれば、別々に2つ作るよりもコンパクトに造れ、財政支出も抑えることができるという考え方もできるのではないか。
62	懇話会	市は生涯学習都市や福祉のまちづくりを謳っているが、文化福祉会館は、市民の拠点となっていない。市の業務やサービスを提供するだけでなく、多目的ホールとして市庁舎の中に市民をとり込むことによって市民の活動や生活が活性化していくのではないか。
63	懇話会	多目的ホールを内包した市庁舎を検討してみてもどうか。いろいろな公演を行うことにより人が集まる、災害時に避難場所になる、あるいは市の行事を行う、これらにより市役所に用事がある人だけでなく、広く市民が集う交流拠点といった役割を果たせるのではないか。
64	懇話会	公会堂で行事がある日は道が渋滞する。集客力を考えると、公会堂は中心地に近い、人の交流が図れるようなところにあるべき。
65	懇話会	市庁舎に文化福祉会館にある趣味嗜好を満たすような施設を考えてはどうか。人が集まれば飲食がつきものであり、レストランや売店などがあれば市民が市役所に用事がなくても来れる。
66	意見書	郵便局の窓口やATMコーナーを設置してほしい。郵便局の窓口があれば庁舎で調った物をその場で発送できる。
67	意見書	分散により生じる恐れがある「来庁者への不案内」については、本庁舎に総合窓口を設置することにより対応してはどうか。また、「部内の意思疎通や決裁の停滞」については、ネット、ラインの整備で対応してはどうか。

## 機能(防災・防犯・環境)

- |    |     |                                     |
|----|-----|-------------------------------------|
| 68 | 懇話会 | 公共の施設はまず安全でなければならない。                |
| 69 | 意見書 | 洪水・津波の際の災害対策本部、避難所としての対応について考えてほしい。 |
| 70 | 意見書 | 屋上に太陽光発電設備を設置するのが望ましい。              |

## 機能(ユニバーサルデザイン)

- |    |     |  |
|----|-----|--|
| 71 | 意見書 | 高層にすると、エレベーターの複数化、非常階段等の設置等、建設費対有効面積の効率が悪い。低地価の当市の場合、2～3階建てまでとすることが望ましい。 |
|----|-----|--|

## 駐車場

- |    |     |   |
|----|-----|---|
| 72 | 懇話会 | 公共機関の整備だけでなく駐車場を確保することも大事である。仕事で市役所に来ることもあるが、車が止められないことがある。駐車場がなければ車を多用する世代は行かない。 |
| 73 | 懇話会 | 公共交通の重要性も感じるが、郊外に住む人にとっては駐車場がないと困る。   |
| 74 | 意見書 | 駐車場は広く、もし土地が狭い場合は立体駐車場でもよいのではないか。   |

## 会議の進め方等

- |    |     |                           |
|----|-----|---------------------------|
| 75 | 意見書 | 市が素案を出すとそれを基にして考えられる面もある。 |
|----|-----|---------------------------|